

同時多項目アレルギー特異的IgE測定法

マストIV

マストイムノシステムズIV

食物アレルギー 20項目

1. トマト
2. モモ
3. キウイ
4. バナナ
5. ゴマ
6. ソバ
7. 小麦
8. ピーナッツ
9. ダイズ
10. コメ
11. マグロ
12. サケ
13. エビ
14. カニ
15. ミルク
16. 豚肉
17. 牛肉
18. 鶏肉
19. オボムコイド
20. 卵白

花粉アレルギー 8項目

1. オオアワガエリ
2. カモガヤ
3. ブタクサ混合物 I
4. ヨモギ
5. スギ
6. ヒノキ
7. ハンノキ
8. シラカンバ

環境アレルギー 4項目

1. コナヒョウヒダニ
2. ハウスダスト I
3. ネコ皮膚
4. イヌ皮膚

その他アレルギー 4項目

1. カンジダ
2. アルテルナリア
3. アスペルギルス
4. ラテックス

—: 特定原材料7品目

当検査の特長

依頼頻度の高い36項目のアレルギーを1回で測定できる検査です
もう項目選びで悩む必要はありません。
また、臨床所見からは分からない重複感作を見つけることにつながります。

これまで通り検体0.5mLで36項目のアレルギー検査ができます
特に小児科において、患者様の負担が少ない検査となっております。

特定原材料7品目のアレルギーをカバー
食物商品に対し表示義務がある特定原材料7品目アレルギー
(卵、牛乳、小麦、エビ、カニ、ソバ、ピーナッツ)を全て検査できます。

測定アレルゲンのご案内

食物アレルゲン項目

食物アレルギーに対する世間の認識の高まりに伴い、消費者庁通知により食物商品に対し特定原材料7品目（卵、牛乳、小麦、エビ、カニ、ソバ、ピーナッツ）の表示が義務付けられています。

マストIVでは、これら7種類のアレルゲンを含め全20種類の食物アレルゲン特異的IgEを測定できます。

トマト、モモを追加したことで、近年増えているPFS（花粉・食物アレルギー症候群）の原因とされる野菜・果物の項目が充実しました。

花粉アレルゲン項目

植物によって花粉飛散時期は異なります。マストIVでは、スギに続いて飛散するヒノキ、北海道や東北で初夏に飛散するシラカンバなど、8種類の花粉アレルゲン特異的IgEを測定できます。スギ花粉症以外については患者様の認知度はあまり高くありませんので、当検査で重複感作を調べる意義は大きいといえます。

環境アレルゲン、その他アレルゲン項目

ダニ、動物皮膚類、カビ類など、室内環境にも、多くの吸入系アレルゲンがあります。

マストIVでは、ハウスダスト、ダニ、カビ類3種、動物皮膚2種のアレルゲン特異的IgEを測定することができます。

新規項目のアスペルギルスは、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の原因となるアレルゲンです。

ラテックスは接触性皮膚炎の原因となるアレルゲンです。ラテックスグローブ装着による皮膚炎がよく知られておりますが、小児の患者様の場合、ゴム風船などにも注意が必要です。

測定クラス

クラス分類は7クラスになります。

■ 判定基準

| 判定 | クラス | 測定値(ルミカウント) |
|-----|-----|-------------|
| 陰性 | 0 | 0~1.39 |
| 疑陽性 | 1 | 1.40~2.77 |
| 陽性 | 2 | 2.78~13.4 |
| | 3 | 13.5~58.0 |
| | 4 | 58.1~119 |
| | 5 | 120~159 |
| | 6 | 160以上 |